



第32回

Asian Party

FUKUOKA PRIZE 2022

# 福岡アジア文化賞 市民フォーラム

学術研究賞

タイモン・スクリーチ氏

(英国 / 美術史家)

神仏となった徳川家康—美術と建築からみる東照宮信仰



2022.9.28 (水) 15:00-17:00

福岡市美術館 ミュージアムホール

※アーカイブ配信: 10.3(月)~11.2(水)

参加・視聴無料  
(要申込)

# 市民フォーラム

参加・視聴無料  
(要申込)

2022.9.28(水) 15:00～17:00 福岡市美術館 ミュージアムホール  
アーカイブ配信:10.3(月)～11.2(水)

## 神仏となった徳川家康 —美術と建築からみる東照宮信仰

1652年に福岡藩主黒田忠之が建立した福岡東照宮を始め、東照宮は全国で250余も建立されました。現在も続く東照大権現(徳川家康)信仰は何故、またどのようにして始まり、広がっていったのでしょうか。タイモン・スクリーチ氏が美術と建築を通して歴史の深層に迫ります。また本講演に引き続き、江戸研究者・田中優子氏との対談「江戸学の現在を語る」が企画されています。

※日本語による講演です。

### 学術研究賞

## タイモン・スクリーチ

Timon SCREECH

(英国/美術史家)

国際日本文化研究センター教授

美術「を」研究するのみならず、美術「で」研究する美術史家

江戸を主たるフィールドに、広くビジュアル情報として残された歴史を解明し続ける博覧強記の日本研究者。『阿蘭陀が通る』『江戸の大普請』など話題作を立て続けに出版し、内外の学界に大きな衝撃を与えるとともに、多元的かつグローバルな視点と斬新な方法論によって江戸研究の新たな地平を切り開いている。



### 対談者/田中 優子

法政大学名誉教授

法政大学江戸東京研究センター特任教授

専門分野は、日本近世文化、アジア比較文化。2005年紫綬褒章受章。2014年～2021年法政大学総長。主な著書に『江戸の想像力』『江戸百夢』『遊郭と日本人』など。タイモン・スクリーチ氏とは長年交流があり、これまでに著書『大江戸視覚革命』の共訳や『江戸の大普請』の解説等を手掛けている。



### コーディネーター/河野 俊行

九州大学

理事・副学長

主幹教諭

イコモス

名誉会長

福岡アジア文化賞

学術研究賞

選考委員会委員



### 福岡アジア文化賞

アジア地域の優れた文化の振興と相互理解及び平和に貢献するため、1990年に、福岡市及び(公財)福岡よかトピア国際交流財団が創設。アジアの固有かつ多様な文化の保存と創造に顕著な業績を上げた方々を顕彰している。これまでの受賞者は118名を数え、今なお世界中で活躍を続けている。

イベント参加申込

8.1(月)から受付開始!

お問い合わせ先/E-mail 32acprize-pl@convention.co.jp

申込締切

会場参加:9.14(水)

※会場参加は定員を超えて申込みがあった場合は抽選

アーカイブ配信:9.29(木)

主催:福岡市/(公財)福岡よかトピア国際交流財団  
協力:福岡市美術館

▼お申込みは  
コチラ

